

感染症の流行・発生状況について  
2025年第12週(3月17日～3月23日)診断分

● 警報・注意報(県全体)

警報	流行性角結膜炎
注意報	なし

● 疾患別警報レベル・注意報レベル(各保健所)

警報レベル	注意報レベル
<ul style="list-style-type: none"> <li>・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (八重山保健所管内)</li> <li>・急性出血性結膜炎 (那覇市保健所管内)</li> <li>・流行性角結膜炎 (那覇市、八重山保健所管内)</li> <li>・水痘 (北部保健所管内)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水痘 (南部保健所管内)</li> </ul>

● 2025年第12週全数報告について(南部保健所管内)※先週までの報告からの追加も含む

<ul style="list-style-type: none"> <li>《二類感染症》</li> <li>・結核 2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>《五類感染症》</li> <li>・侵袭性肺炎球菌感染症 1件</li> <li>・百日咳 9件</li> </ul>
---	--

● 南部保健所からのお知らせ

「手洗い」、「咳エチケット」、「換気」等の感染予防策の実施にご協力よろしくお願いします。

①百日咳

本県から令和7年2月7日付けで百日咳が増加傾向にあるとのプレスリリースがあります。詳細につきましては以下のリンクをご参照ください。

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/press/1028521/1032871.html>

感染症発生動向調査による本県の医療機関から百日咳の届出が2025年第12週時点で累計252人と、全数把握となった2018年以降では過去最多であった2024年の85人を大きく上回っており、増加しております。

南部保健所管内においても百日咳の報告数は2025年第12週時点で累計106人となり、本県と同様に過去最多であった2024年の44人を大きく上回っており、増加しております。

百日咳は感染力が強く、乳幼児が感染すると重症化あるいは死にいたることもあります。感染対策には予防接種が非常に重要です。生後2か月になった乳児は速やかに五種(四種)混合ワクチンの接種を開始しましょう。乳幼児でまだ予防接種を受けていない場合は早めに接種をしてください。また、児童、生徒や成人では一般的に軽症となる傾向がありますが、ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源となりうるため、咳が長引く場合は早めに医療機関を受診してください。

②流行性角結膜炎

本県から令和7年3月14日付で流行性角結膜炎の流行状況について警報発令とのプレスリリースがあります。詳細につきましては以下のリンクをご参照ください。

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/press/1028521/1033998.html>

感染症発生動向調査による本県の眼科定点医療機関からの流行性角結膜炎の報告数が、2025年第12週に定点当たり11.00人(定点医療機関9カ所、報告数99人)と、流行性角結膜炎の警報発令基準値である8.0人を超えており、第10週から流行性角結膜炎警報を発令中です。警報発令値を超えるのは2011年第30週以来となります。

南部保健所管内においては、2025年第12週に眼科定点当たり6.33人(報告数19人)となっております。

③水痘

水痘(水ぼうそう)は水痘帯状疱疹ウイルスによって起こる急性の伝染性疾患で、2週間程度の潜伏期間の後、発熱や倦怠感(成人のみ)を経て掻痒を伴う全身性の発疹といった症状が出現します。1歳以下や15歳以上で合併症の危険性が高くなり、とくに成人では重症化及び合併症の頻度も高くなります。予防方法は感染者との接触を控えることとワクチン接種です。

南部保健所管内における水痘の報告数は2025年第12週で定点当たり1.38人(報告数11人)となり、注意報発令基準値を超えています。

発熱、長引く咳など体調不良時には、かかりつけ医に相談、受診もしくは、受診医療機関に迷う場合は、「おきなわ#7119電話相談」(#7119 若しくは 098-866-7119)へご相談ください。

※定点医療機関とは、インフルエンザなどの感染症について、患者の発生情報を提供する医療機関のことで、定点1医療機関あたりの平均報告数で、感染症の流行状況を把握しています。

疾病名	定点区分	沖縄県全体報告数				南部保健所管内報告数			
		9週 2/24	10週 3/3	11週 3/10	12週 3/17	9週 2/24	10週 3/3	11週 3/10	12週 3/17
インフルエンザ	インフルエンザ	426	312	278	235	149	107	100	96
咽頭結膜熱	小児科	5	7	12	2	4	2	2	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	76	77	70	66	17	16	18	13
感染性胃腸炎	小児科	160	114	132	94	23	15	23	12
水痘	小児科	41	18	31	23	11	3	5	11
手足口病	小児科	6	6	5	8	3	4	3	1
伝染性紅斑	小児科	12	26	26	11	1	4	4	5
突発性発疹	小児科	7	11	8	7	0	6	3	5
ヘルパンギーナ	小児科	0	0	1	0	0	0	1	0
流行性耳下腺炎	小児科	2	2	1	4	0	1	0	0
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	1	0	0	0	0
流行性角結膜炎	眼科	68	83	83	99	12	13	13	19
細菌性髄膜炎	基幹	0	0	1	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	基幹	1	0	1	2	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	基幹	0	0	0	1	0	0	0	0
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	小児科	10	8	16	17	3	1	4	6
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	0	0	1	0	0	0	0
COVID-19	COVID-19	88	67	94	61	33	26	50	25
ヒトメタニューモウイルス(MPVI)感染症						2	2	3	4

警報

注意報

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。